「教育課程特例校」の実施について(令和２年度の取組)

南城市立久高小学校

１　「教育課程特例校」申請の経緯

本市は、平成１９年度から文部科学省より「研究開発校」の指定を受けて小中連携による９年間の統一した英語教育を実施してきた。

さらに、平成２３年度からの３年間は、研究開発校の指導内容や指導体制を継承・発展させていくことを目的として、文部科学省より「教育課程特例校」の指定を受け、小中一貫した音声及び活動重視の英語教育の実践に努めてきた。

その後も「教育課程特例校」事業を継続し、平成２９年度からの３年間も引き続きこの事業を継続し、外国語教育の充実に努めている。

２　特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

小学校第１・２学年において、新設教科「英語活動」の時間を設定し、生活科、音楽、図画工作、体育から英語活動に充当する。

(2) 必要となる教育課程の基準の特例

①新設教科、対象学年、実施時数

ア：小学校第１・２学年に新設教科「英語活動」を置く。

・小学校第１～２学年は、生活科、音楽、図画工作、体育から計１５時間縮減し、「英語活動」にあてる。

イ：他教科・領域からの充当時数表

	生活科	音楽	図工	体育
小学校第１学年	－３	－４	－４	－４
小学校第２学年	－３	－４	－４	－４

(3) 取組の期間

平成３０年４月１日～令和３年３月３１日の２年間

３　委員会及び学校の取組

(1) 小中合同での英語(外国語活動)担当教諭連絡会の実施

(2) 小中連携授業研究会の実施

(3) 指導主事招聘研究授業の実施

(4) 国際交流事業の実施(基地内小中学校との交流、異文化交流授業等)

(5) 中学部英語教諭、ＡＬＴを活用した授業実践

４　今年度の実践紹介

【幼少合同のハロウィン会】

【クリスマス会】

【１・２年授業　キーワードゲームの様子】

コミュニケーション能力の素地を育成するため、英語活動と外国語活動においてはゲームを中心とした「楽しく話す英語」に取り組んでいる。

小学生全員が「英語活動」と「外国語活動」について、「とても楽しい」、「楽しい」と答えており、特に新しい単語に親しむための「キーワードゲーム」や「かるた」が楽しいとの回答が多かった。また、リズムにのって発音練習を楽しんでいる様子もあった。

保護者は、低学年の時期から外国語に触れることにとても好感を持っている。また、「英語だけでなく、その他の国の言語についても触れることで、多様性を認める心を養える」との回答もあった。

課題としては、小学部児童全体の英語技能の向上と、中学部との連携、ALT とのコミュニケーション不足などが挙げられる。

今後も、ALT を活用しながら、子どもたちが外国語活動に親しんでいけるよう計画していきたい。